※4　固定資産除却損（営業外費用）

固定資産除却損の内訳は、次のとおりであります。

種類	固定資産除却損計上額
建物	272,936,036円
構築物	9,326,900円
機械装置	74,254,660円
車両運搬具	963,261円
工具器具備品	86,368,301円
その他	497,374円
合計	444,346,532円

なお、固定資産除却損には、上記のほかに221,218,742円の解体・撤去費用が含まれております。

※5　特別利益

特別利益に計上した固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

土地の売却益	964,066,010円
車両運搬具の売却益	954,410円
合計	965,020,420円

※6　特別損失

特別損失の内容は、次のとおりであります。

⑴　固定資産売却損

工具器具備品の売却損	51,256円

⑵　その他の特別損失

財政再計算に伴い引当不足となった整理資源負担金を一括費用処理した金額	2,060,667,632円
ＰＣＢ処理料金の改定による環境安全対策引当金の計上	1,196,480,324円
その他	3,827,455円
合計	3,260,975,411円

Ⅳ　キャッシュ・フロー計算書

1　キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金は、手許現金及び要求払預金からなっております。

2　資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金	51,388,128,481円
定期預金	△ 48,500,000,000円
資金期末残高	2,888,128,481円

3　本年度に重要な非資金取引はありません。

Ⅴ　行政サービス実施コスト計算書

損益外減損損失相当額は、中期計画等で想定した業務を行ったにもかかわらず、生じた減損損失相当額であります。

引当外退職給付増加見積額は、国からの出向役員に係るものであります。

なお、平成19年度及び平成20年度においては、政府出資等の機会費用の計算にあたり、政府出資の額から損益外減損損失累計額を控除しておりませんでしたが、当期よりこれを控除して計算しております。当事業年度と同様の計算方法によると、平成19事業年度の政府出資等の機会費用は3,834,101,611円、行政サービス実施コストは△8,415,665,382円、平成20事業年度の政府出資等の機会費用は4,022,354,167円、行政サービス実施コストは△3,501,477,272円となります。

Ⅵ　固定資産の減損会計に関する事項

1　保養所

名称	用途	種類	場所	面積	帳簿価額	損益外減損損失
那須保養所	職員の厚生施設	土地	栃木県那須郡那須町	2,793.47㎡	16,000,000円	1,100,000円
		建物 構築物		—	55,000,000円	4,800,000円
鎌倉宿泊所		土地	神奈川県鎌倉市由比ヶ浜	2,055.63㎡	509,000,000円	12,000,000円
		建物 構築物		—	76,000,000円	800,000円
伊東保養所		土地	静岡県伊東市坪の内	1,486.71㎡	54,240,000円	1,140,000円
		建物 構築物		—	21,960,000円	1,960,000円
京都宿泊所		土地	京都府京都市上京区室町	787.93㎡	215,893,000円	—
		建物 構築物		—	11,000,000円	6,300,000円

当該施設は、職員に対する福利厚生施設として利用しておりましたが、いずれも平成20年度末日をもって利用を廃止し、次年度以降に売却を予定しているため、減損の兆候が認められ、認識及び測定を行っております。

回収可能サービス価額（正味売却価額）の算定方法については、不動産鑑定評価額とし、帳簿価額との差額を損益外減損損失として計上しております。なお、京都宿泊所の土地については、回収可能サービス価額（正味売却価額）が帳簿価額を上回っているため、減損額は算出されておりません。

2　出張所及び分室

名称	用途	種類	場所	帳簿価額	損益外減損損失
出雲出張所		建物 構築物	島根県出雲市今市町	140,662円	140,657円